

## 準備報告時間の削減を許すな！

3月ダイヤ改正以降、一ヶ月が経過した。分会は今年9日から11日にかけて職場集会を開催し、ダイヤ改正以降の行路等に対する意見を受けた。以下、出された意見と問題点を明らかにする。

○運転士の場合、出勤点呼から乗務点呼までダイヤ改正までは17分があったが現在は14分である。アルコール検査が含まれているにもかかわらず乗務前の準備時間が3分削られているが、どの部分を削ったのか明らかにすること。

○出勤時刻から乗務点呼までの時間が14分間しかない。掲示確認・徐行ノッチ制限の確認・報告書の準備・便乗列車があれば案内カードの準備・Sカードの動作確認・時計の整正・クルーとの打ち合わせ5分前点呼を基本としているので、これだけの事を9分間で行うのは無理ではないか。

おかしいと思うだろう。会社は2月業務委員会の中で以下のように回答した。

行路の形態や業務の内容が変更となることを踏まえ、準備報告時間や点呼時間の変更を行っており、準備報告時間及び折り返し時間の見直しを行っている。個別の具体的な報告の増減について、詳細な時間を示す考えはない。

会社は乗務点呼の簡略化などにより運転士の場合トータルとして△2分(※)とした。そもそもトータルで考えることがおかしい。出勤時刻から乗務点呼前の準備にはアル検が増えてタイトになっている。結果、早め出勤というサービス労働が発生している！**会社は実測データを含め詳細な時間を示せ！**

(※)準備報告時間 乗務前、運転士はダイヤ改正前 35分⇒ダイヤ改正後 33分